※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | T0301 |
|---|---|

# 令和５年度　芸術科（美術）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高校生の美術１（日本文教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画や版画、彫刻やデザインなどの美術の基本的な内容と鑑賞の分野について学習します。

・鉛筆や色鉛筆、カラーマーカーや水彩絵の具などの基本画材の活用技術を学ぶとともに、一人ひとりの感じ方、考え方も大切にしながら、創造的な表現の喜びを味わいましょう。

・他の人の作品や、美術史的に重要な作品などを鑑賞しながら、自分の見方だけでなく、他の人の見方も知ることで、美術に対する理解を深めていきましょう。

## ２　学習の到達目標

A:知識・技能
　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。基本的な表現技法を身に着ける。
B:思考・判断・表現
　造形的な美しさや表現の意図を考え、主題を生成し創造的に表現することができる。
C:主体的に学習に取り組む態度
　美術の幅広い創造活動に積極的に取り組むことができる。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 創造的な美術の表現をするために必要な知識を理解し、技能を身に付け、表現の意図に応じた制作を行っている。 | 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたことを目的や機能、美しさなどから判断し、創造的な表現の構想を練っている | 自ら実技制作に取り組み、学んだことを主体的に活用しようとしている。<br>他者の作品に対して主体的に鑑賞を行っている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 開始 | ◎オリエンテーション<br>・美術の授業について理解する | a:内容を理解したか<br>b:内容を理解したか<br>c:主体的に傾聴したか | レポートの出来具合 | レポートの出来具合 | 授業に取り組む姿勢 |
| | 鉛筆 | ◎「直線による構成」<br>※縦横各８本の直線により画面を分割し濃淡によって表現する | a:鉛筆の知識と基本技能を身に着けた<br>b:構成方法を思考し、美的表現の追求に努めている<br>c: 主体的に傾聴し、学んだことを積極的に取り入れた作品制作を行った | 課題作品の出来具合 | 課題作品の出来具合 | 授業に取り組む姿勢 |
| 前期 | 色鉛筆 | ◎「色鉛筆による表現」<br>※筆圧や密度、混色を調整し調色を身に着ける<br>※セザンヌの静物画を模写する | a: 色鉛筆の知識と基本技能を身に着けた<br>b: 色鉛筆での表現方法の追求に努めている<br>c: 主体的に傾聴し、学んだことを積極的に取り入れた作品制作を行った | 課題作品の出来具合 | 課題作品の出来具合 | 授業に取り組む姿勢 |
| | ペン | ◎「カラーペンによる表現」<br>※ハッチング法による着色とクロスハッチング法による混色を練習する<br>※直線３本、曲線１本、円２個による構成を行い、カラーペンで着色する | a: ペンの知識と基本技能を身に着けた<br>b: 構成方法を思考し、カラーペンでの美的表現の追求に努めている<br>c: 主体的に傾聴し、学んだことを積極的に取り入れた作品制作を行った | 課題作品の出来具合 | 課題作品の出来具合 | 授業に取り組む姿勢 |
| 前期 | 絵具 | ◎「文字の構成」<br>※水彩絵の具の塗り方を練習する<br>※水彩絵の具の混色を練習する<br>※明朝体ひらがなを練習する<br>※文字「ひらがな」による構成<br>・ことばからイメージを広げ、配色に工夫する。 | a: 絵具の知識と基本技能を身に着けた<br>b: 構成方法を思考し、水彩絵の具による美的表現の追求に努めている<br>c: 主体的に傾聴し、学んだことを積極的に取り入れた作品制作を行った | 課題作品の出来具合 | 課題作品の出来具合 | 授業に取り組む姿勢 |
| | 鉛筆 | ◎「そっくりに描く」<br>※ピカソの泣く女を鉛筆で模写する | a: 鉛筆の知識と応用技能を身に着けた<br>b:<br>c: 主体的に傾聴し、学んだことを積極的に取り入れた作品制作を行った | 課題作品の出来具合 | 課題作品の出来具合 | 授業に取り組む姿勢 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 後期 | 開始 | ◎オリエンテーション<br>・前期作品の返却<br>・後期の授業内容を理解する | a:内容を理解したか<br>b:内容を理解したか<br>c:主体的に傾聴したか | レポートの出来具合 | レポートの出来具合 | 授業に取り組む姿勢 |
| | 木版 | ◎「連続模様による『紙袋』の装飾」<br>※連続する模様となる基本図形を考える<br>※基本図形を木版に彫り起こす<br>※基本図形の木版を紙袋に刷ることで、装飾を施す | a: 木版の知識と基本技能を身に着けた<br>b: 連続模様を思考し、「版」を用いた美的表現の追求に努めている<br>c: 主体的に傾聴し、学んだことを積極的に取り入れた作品制作を行った | 課題作品の出来具合 | 課題作品の出来具合 | 授業に取り組む姿勢 |
| 後期 | 絵手紙 | 「絵手紙の制作」<br>※描画の基本練習を行う<br>※着色の基本練習を行う<br>※添える言葉を考える<br>※「葉っぱ」をモチーフにして描く<br>※「みかん」をモチーフにして描く<br>※「さかな」をモチーフにして描く | a: 絵手紙の知識と基本技能を身に着けた<br>b: モチーフの構造を思考し、絵手紙による美的表現の追求に努めている<br>c: 主体的に傾聴し、学んだことを積極的に取り入れた作品制作を行った | 課題作品の出来具合 | 課題作品の出来具合 | 授業に取り組む姿勢 |
| | 彫刻 | ◎「そっくりに彫る」<br>※パプリカをモチーフに写実的にデッサンする。<br>※パプリカをモチーフに写実的に彫刻する。 | a: 彫刻の知識と基本技能を身に着けた<br>b: モチーフの造形要素を思考し、彫刻による美的表現の追求に努めている<br>c: 主体的に傾聴し、学んだことを積極的に取り入れた作品制作を行った | 課題作品の出来具合 | 課題作品の出来具合 | 授業に取り組む姿勢 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度